


CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-980



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページ の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターに傷みがないか、コンセントとプラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



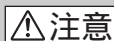
- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

| | |
|---------------|---|
| ⚠警告・⚠注意 | 4 |
|---------------|---|

ここだけ読んで使えます

| | |
|--------------|----|
| CDを聞く | 8 |
| ラジオを聞く | 10 |
| テープを聞く | 12 |
| 録音する | 14 |

CD

| | |
|----------------------------------|----|
| 表示窓の見かた..... | 16 |
| 聞きたい部分を探す(サーチ)..... | 17 |
| 繰り返し聞く(リピート演奏)..... | 18 |
| 順不同に聞く(シャッフル演奏)..... | 19 |
| 聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム演奏) | 20 |
| 音飛びを防ぐには(ESP) | 22 |

ラジオ

| | |
|------------------|----|
| 放送局を記憶させる..... | 23 |
| 記憶させた放送局を聞く..... | 24 |

タイマー

| | |
|-----------------|----|
| 時計を合わせる..... | 25 |
| 音楽で目覚める..... | 26 |
| 音楽を聞きながら眠る..... | 28 |

準備

| | |
|---------------|----|
| 電源を準備する..... | 29 |
| 好みの音質で聞く..... | 31 |

その他

| | |
|-------------------|----|
| 使用上のご注意..... | 32 |
| 故障かな?と思ったら..... | 34 |
| お手入れ..... | 37 |
| 保証書とアフターサービス..... | 38 |
| 主な仕様..... | 39 |
| 各部のなまえ..... | 40 |
| 索引..... | 42 |

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

自動車などの運転をしながら細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



ACパワーアダプターのコードを傷つけない

ACパワーアダプターのコードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- コードを抜くときは、必ずACパワーアダプター本体を持って抜く。

万一、ACパワーアダプターのコードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口で交換をご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



警告

つづき

雷が鳴りだしたら、アンテナやACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。ただし製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナをたたんで使用を中止してください。



指定以外のACパワーアダプターやカーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



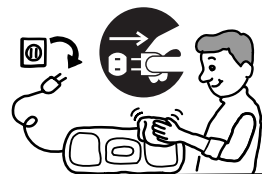
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



⚠️ 注意

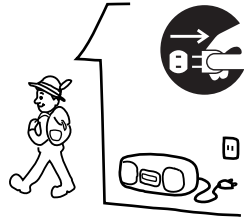
つづき

移動させるとき、長時間使わないときは、

ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだまま移動させると、ACパワーアダプターのコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、ロッドアンテナを折りたたんでください。

長期間の外出、旅行のときは安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



禁止



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

布をかけたリ、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災や感電の原因となることがあります。



禁止



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



幼児の手の届かない場所に置く

カセットぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止





円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



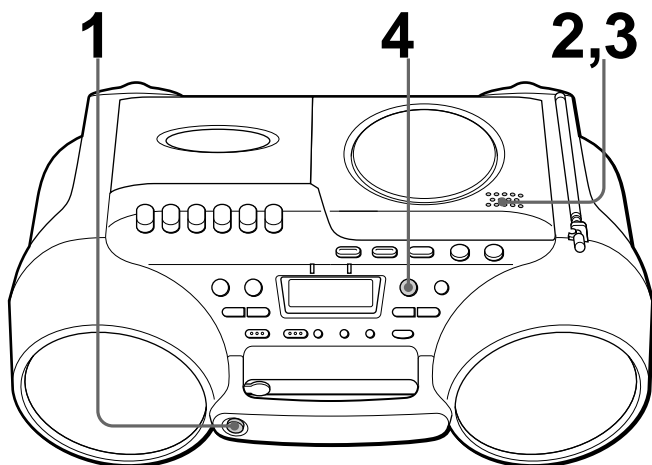
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- + と - の向きを正しく入れる。



- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

CDを聞く



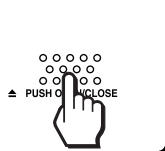
準備→ACパワーアダプターを接続してください(29ページ参照)。

1

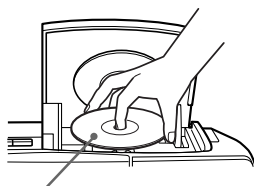


パワー
POWERスイッチを押して、
電源を入れる。

2

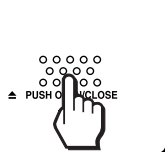


プッシュ オープン クローズ
△PUSH OPEN/CLOSEを
押して、CDぶたを開け、CD
を入れる。

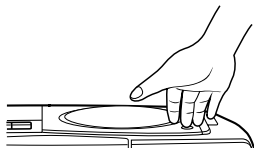


文字のある面を上

3



CDぶたを閉める。



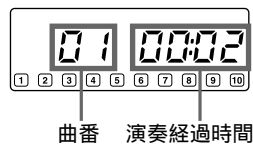
4



▶▶ボタンを押す。

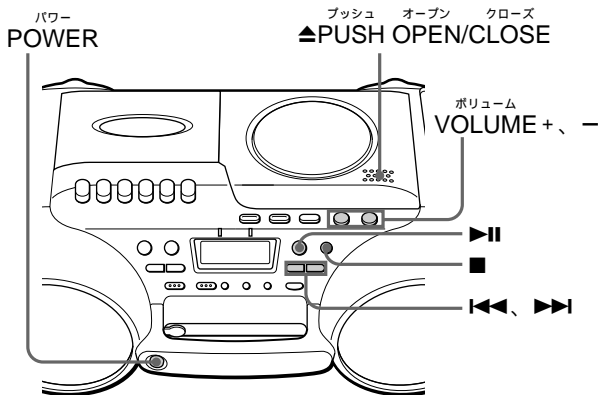
再生が始まります。

本体表示窓



ここだけ読んで
使えます

その他の操作



ちょっと一言

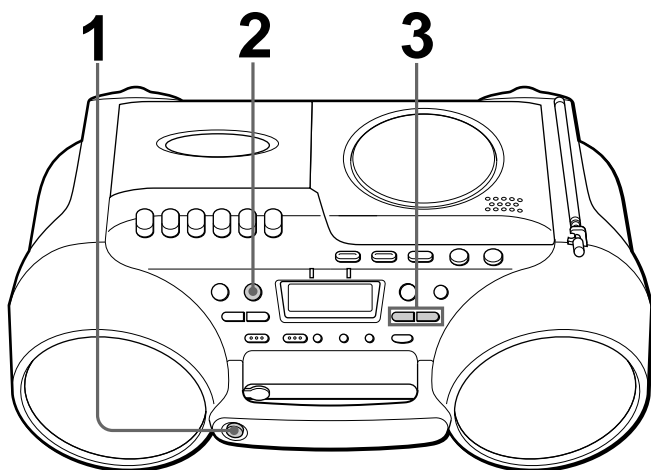
スピーカーが上向きになっているときは、CDの落下防止のため、CDぶたは開きません。



CDぶた

| | |
|------------|-----------------------------|
| こんなときは | 押すボタン |
| 音量を調節する | ボリューム VOLUME +、- |
| 再生を止める | ■ |
| 再生中に一時停止する | ▶▶ もう一度押すと演奏が始まる。 |
| 曲の頭に戻す | ◀◀ 短くポンと押す。 |
| 次の曲へ進む | ▶▶ 短くポンと押す。 |
| CDを取り出す | オープン クローズ ▲CD OPEN/CLOSE |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

ラジオを聞く



準備→ACパワーアダプターを接続してください(29ページ参照)。

1



パワー
POWERスイッチを押して、
電源を入れる。

2



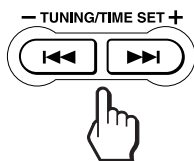
バンド
BANDボタンを押して、**FM**
か**AM**を選ぶ。

本体表示窓

AM 594

ボタンを押すと「FM」か「AM」が
出ます。切り換えるときは、もう一度
押します。

3



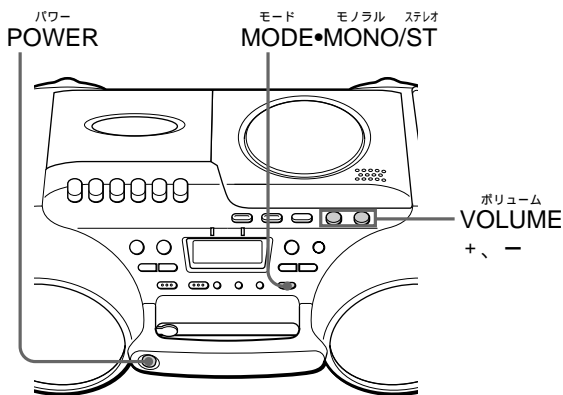
チューニング タイム セット
TUNING/TIME SET +または
- ボタンを押したままに
し、数字が動き始めたら指を
離す。

FMステレオ放送のとき
出る

FM 81.3

放送局を自動的に受信して止まりま
す。受信できなかったときは、
TUNING/TIME SET +または **-** ボタ
ンを繰り返し押して、聞きたい局の周
波数に合わせます。

その他の操作



ちょっと一言

FMステレオ放送の雑音が多いときは、MODE•MONO/STボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

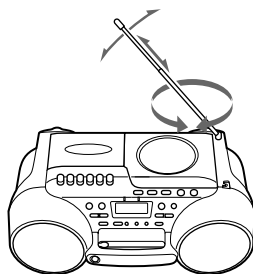
ご注意

本機を持ち運ぶとき、ロッドアンテナは保護のため、たたんでおいてください。

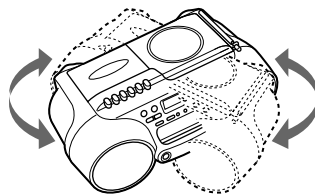
| | |
|----------|------------------|
| こんなときは | 押すボタン |
| 音量を調節する | ボリューム VOLUME +、- |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

受信状態をよくする

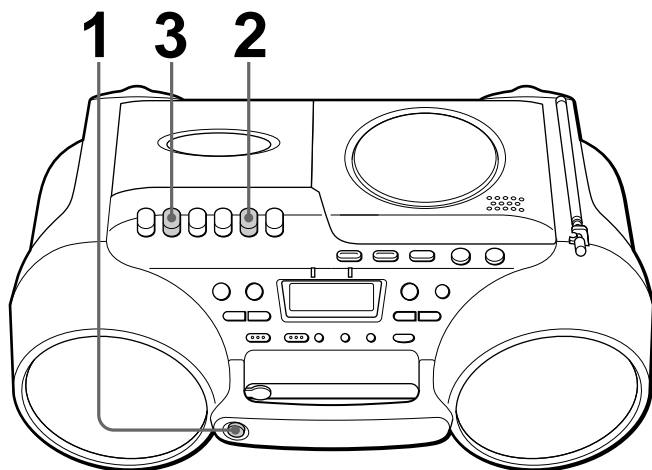
FM (TV1~3ch) 放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし、向き
を変える。



AM放送のとき
本体の向きを変える。



テープを聞く



準備→ACパワーアダプターを接続してください(29ページ参照)。

1



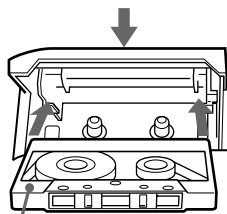
パワー
POWERスイッチを押して、
電源を入れる。

2



■△ボタンを押し、カセット
を入れ、ふたを閉める。

TYPE I (ノーマル) テープをお使い
ください。



聞きたい面を上

3



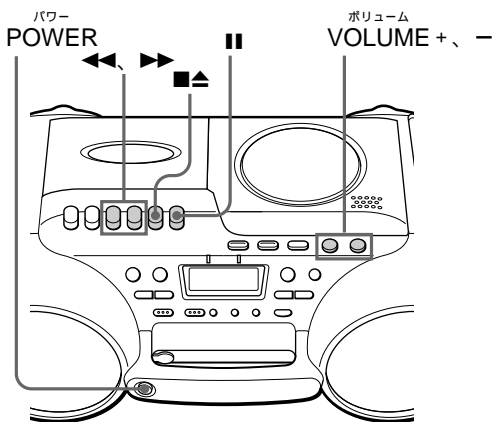
▶ボタンを押す。

再生が始まります。

本体表示窓

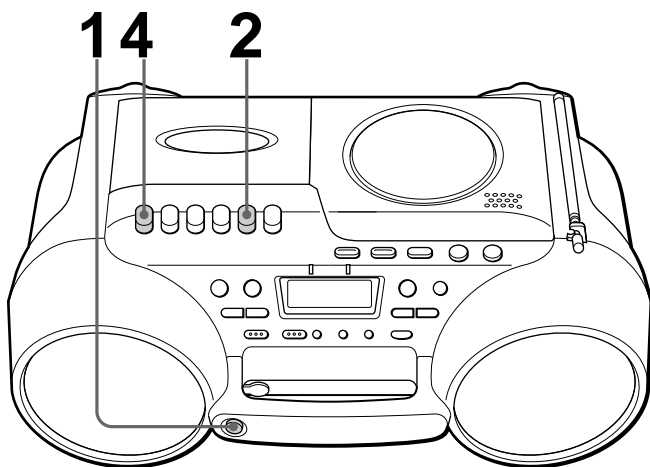
TAPE

その他の操作



| こんなときは | 押すボタン |
|------------|---------------------|
| 音量を調節する | ボリューム VOLUME +、- |
| 再生を止める | ■▲ |
| 早送りや巻戻しをする | ▶▶または◀◀ |
| 再生中に一時停止する | もう一度押すと演奏が始まる。 |
| カセットを取り出す | ■▲ |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

録音する



準備→ACパワーアダプターを接続してください(29ページ参照)。

1



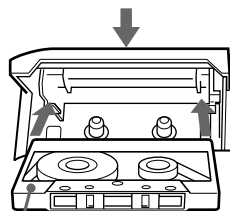
パワー
POWERスイッチを押して、
電源を入れる。

2



■▲ボタンを押して、録音用
カセットを入れ、ふたを閉め
る。

TYPE I(ノーマル)テープをお使い
ください。



録音をする面を上

3



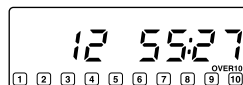
録音するものを選ぶ。

CDを録音するとき

CDを入れる(8ページ参照)。CDの

■ボタンを押して、CDを録音できる
状態にする。

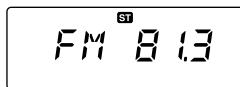
本体表示窓





ラジオを録音するとき
録音する局を受信する（10ページ参
照）。

本体表示窓



ここだけ読んで
使えます

4



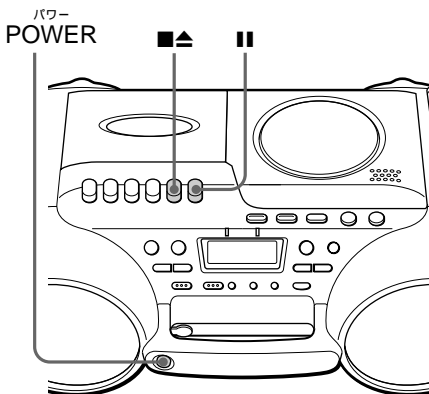
●ボタンを押す。

▶ボタンが同時に押され、録音が始
まります。

ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 録音するときには、乾電池ではなく付属のACパワーアダプターを使用することをおすすめします。
- 録音した音を消去するには
 - 音を消したいカセットを入れ、FUNCTIONボタンを繰り返し押して「TAPE」を選ぶ。
 - ボタンを押す。

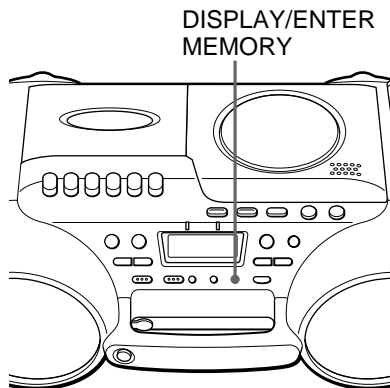
その他の操作



| | |
|-----------|--------------------|
| こんなときは | 押すボタン |
| 録音を止める | ■▲ |
| 録音を一時停止する | もう一度押すと録音が始まる。 |
| 電源を入/切する | パワー POWER |

表示窓の見かた

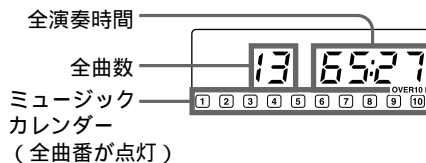
表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、表示窓を見る。

10曲以上入っているCDでは、「OVER10」と表示されます。



残り時間を調べるには

演奏中、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。

演奏し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

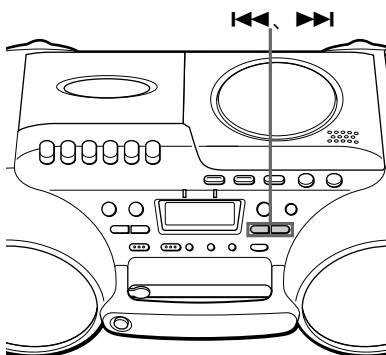
| 表示 | 押す回数 |
|---------------------|------|
| 演奏中の曲番と曲の残り時間* | 1回 |
| CD全体の残りの曲数と残り時間 | 2回 |
| 演奏中の曲番と演奏経過時間（通常表示） | 3回 |

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「--:--」と表示されます。

聞きたい部分を 探す

(サーチ)

◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。



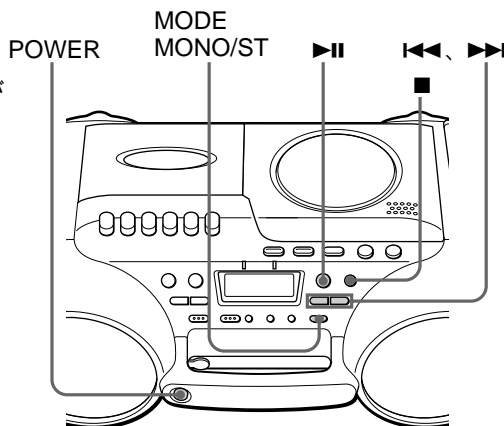
C
D

| 選びかた/探しかた | 操作のしかた |
|--------------------------------|----------------------------|
| 聞きながら探す (サーチ) | 演奏中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。 |
| 表示窓の演奏時間 を見ながら探す (高速サーチ) | 一時停止中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。 |

繰り返し聞く

(リピート演奏)

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。

2 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

3 MODE・MONO/STボタンを押して、希望の表示を出す。

| リピートの種類 | 選ぶ表示 |
|----------------|---|
| 1曲だけ繰り返す | 1 「REP 1」を表示させる。 2 ◀◀または▶▶ボタンを押して曲を選ぶ。 |
| 全曲を繰り返す | 「REP ALL」を表示させる。 |
| 順不同に繰り返す | 「SHUF REP」を表示させる。 |
| プログラムした曲順で繰り返す | 「PGM REP」を表示させ、プログラムする。(20ページの手順4参照) |

4 ▶||ボタンを押す。

演奏が始まります。

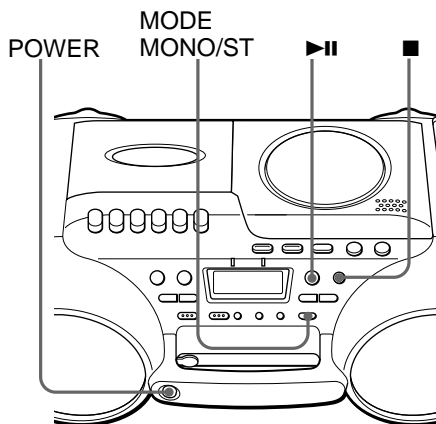
リピート演奏をやめるには

MODE・MONO/STボタンを押して「REP」表示を消します。

順不同に聞く

(シャッフル演奏)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



C
D

1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。

2 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

3 MODE・MONO/STボタンを押して、
「SHUF」を表示させる。

4 ▶||ボタンを押す。

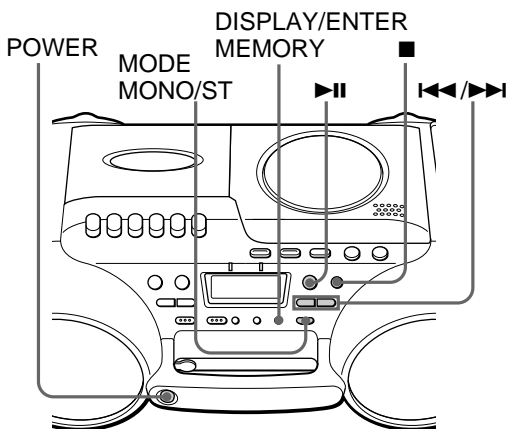
演奏が始まります。

シャッフル演奏をやめるには

MODE・MONO/STボタンを押して「SHUF」表示を消します。

聞きたい曲を 好きな順に聞く (プログラム演奏)

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラム
することができます。



ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶▶ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDふたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。

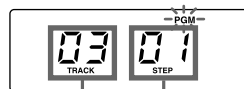
2 CDの■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

3 MODE・MONO/STボタンを押して「PGM」を表示させる。

4 ◀◀または▶▶ボタンを押して、聞きたい曲番を表示させ、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。

選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。



選んだ曲番 プログラムでの曲順

5 ▶▶ボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには
MODE・MONO/STボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには

演奏前に、本体のDISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押します。

押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更するには

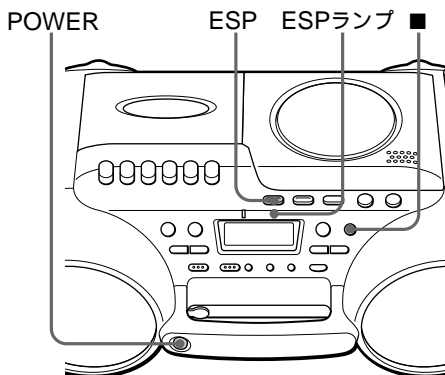
演奏前には1回、演奏中には2回、CDの■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

C
D

音飛びを防ぐには

イーエスピー
(ESP)

ESP(Electronic Shock Protection)機能は、CDのデータを約10秒分ずつ電子回路に貯えておくことにより、音飛びを防ぎます。



ご注意

- 強い衝撃が加わると演奏が停止することがあります。
- 次のような場合、ノイズが出たり、音が飛んだりすることがあります。
 - 汚れや傷のあるディスクを聞いているとき
 - 特殊な信号が入ったテストディスクなどを聞いているとき
 - 本機に連続的に衝撃が加わっているとき
- 演奏中にESPボタンを押すと、少しの間、音がとぎれます。
- 録音中はESP機能を切り換えることはできません。

1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。

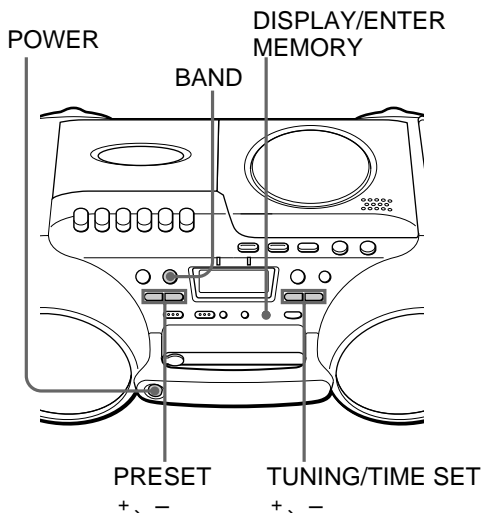
2 CDの■ボタンを押す。
「Cd」が表示されます。

3 ESPボタンを押す。
ESPランプが点灯します。

ESP機能を解除するには
もう一度ESPボタンを押します。

放送局を記憶させる

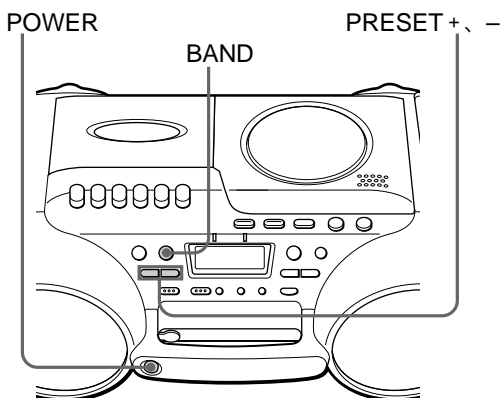
特定の放送局を記憶させることができます。次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、合計20局まで記憶できます。



- 1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。
- 2 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 3 TUNING/TIME SET + または - ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信する。
- 4 DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを約2秒間押したままにする。
- 5 PRESET + または - ボタンを押して、ミュージックカレンダーの記憶させたいプリセット番号(1~10)を点滅させる。
- 6 DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。
新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた 放送局を聞く

PRESET +、-ボタンで、記憶させた放送局を簡単に選ぶことができます。



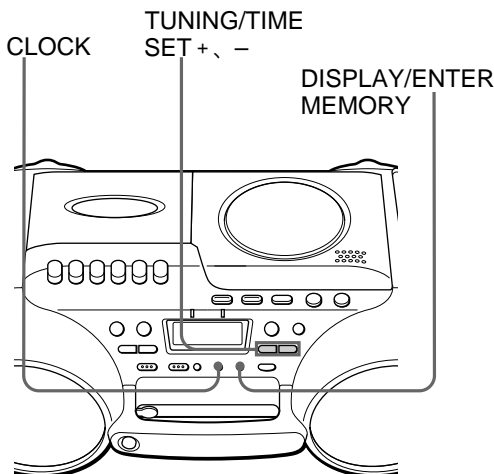
- 1 POWERスイッチを押して、電源を入れる。
- 2 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 3 PRESET+または-ボタンを押して、聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。



プリセット番号

時計を合わせる

本機の時計表示は、時刻を合わせるまで「AM 12:00」が点滅します。



ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
真夜中：「AM12:00」
正午：「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス（117番）をご利用になると便利です。

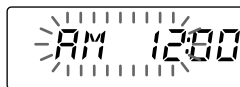
操作の前に

電源の準備をしてください（29ページ参照）。

1 POWERボタンを押して、電源を入れる。

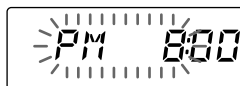
1 CLOCKボタンを約2秒間押したままにする。

「時」表示が点滅します。

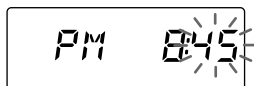


2 時刻を合わせる。

- ① TUNING/TIME SET +
または-ボタンを押して
「時」を合わせ、
DISPLAY/ENTER・
MEMORYボタンを押
す。



- ② TUNING/TIME SET +
または-ボタンを押して
「分」を合わせる。

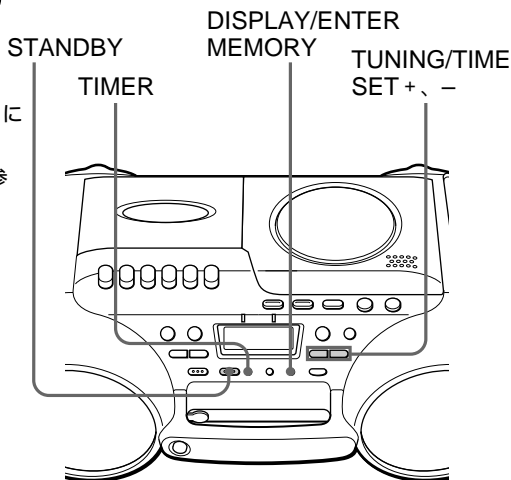


3 DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください（25ページ参照）。



操作の前に

表示窓に①が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

| 音源 | 準備 |
|-------------|-------------|
| CD | CDを入れる。 |
| RADIO (ラジオ) | 聞きたい局を受信する。 |

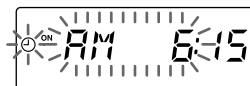
2 TIMERボタンを押す。

①と聞きたい音源（「Cd」または「Radio」）が点滅します。

3 TUNING/TIME SET + または - ボタンを押して聞きたい音源を表示させ、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。

4 再生を始める時刻を設定する。

① TUNING/TIME SET + または - ボタンを押して「時」を合わせ、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。



ちょっと一言

翌日も同じ時刻に再生を始めることができます。
 ①が表示されるまで、STANDBYボタンを押します。
 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

ご注意

タイマー再生中にテープ操作部の▶ボタンを押すか、FUNCTIONボタンで「TAPE」を選ぶと、タイマー再生が解除されます。

- ② TUNING/TIME SET + または-ボタンを押して「分」を合わせ、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。

5 同じように再生を止める時刻を設定する。

- 6** TUNING/TIME SET + または-ボタンを押して希望の音量を表示させ、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押す。



7 STANDBYボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、①が出ます。予約した時刻になると自動的に電源が入り再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

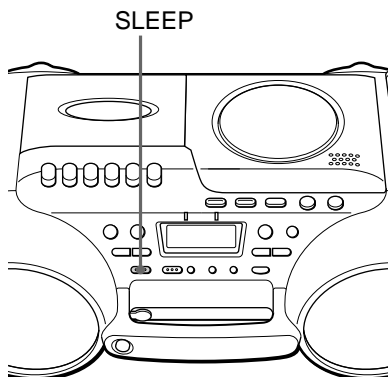
予約した内容を確認したり、変更するには
 TIMERボタンを押したあと、DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押します。DISPLAY/ENTER・MEMORYボタンを押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには
 電源を入れれば、通常の操作ができます。
 予約開始時刻の前に電源を切れれば、予約した時刻になると自動的に再生が始まります。
 ラジオの場合26ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、その別の局が始まります。電源を切る前に、聞きたい放送局を選んでおいてください。

タイマー再生を途中で止めるには
 POWERスイッチを押して、電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



ちょっと一言

- CDやラジオを聞く場合は、テープの▶ボタンが押し込まれていないことを確認してください。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約してから（26ページ参照）、電源を入れ、このページの操作手順に従ってスリープタイマーを設定します。ラジオを聞いているときは、お目覚めのときに聞きたい放送局を選んでおいてください。

ご注意

テープを聞きながらおやすみになるときは、片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

- 1 聞きたい音楽の演奏を始める。
- 2 SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。
- 3 SLEEPボタンを押して、時間（分）を選ぶ。
ボタンを押すごとに「60」→「90」→「120」→表示なし→「10」→「20」→「30」と変わります。

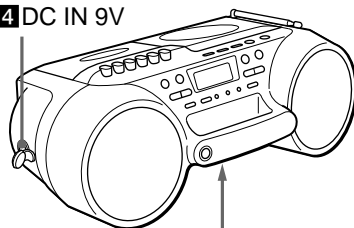


おやすみ機能を途中で止めるには
POWERスイッチを押して、電源を切ります。

電源を準備する

家庭用電源、乾電池またはカーバッテリーのいずれかを選んでお使いになれます。

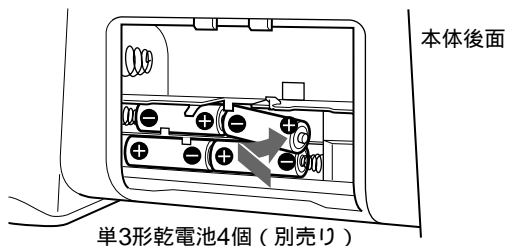
2 4 DC IN 9V



1 3 乾電池収納部

1 メモリー用乾電池を入れる

別売りの単3形乾電池を4個入れます。



ちょっと一言

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておい
てください。CDぶたの中
でCDがずれて、傷つくお
それがあります。

ACパワーアダプターの接続に
ついて

- この製品には、付属のACパ
ワーアダプター（極性統一型
プラグ・EIAJ*規格）をご使
用ください。付属以外のAC
パワーアダプターを使用す
ると、故障の原因になる場合
があります。
- プラグは最後まで押し込んで
ください。

*日本電子機械工業会の略

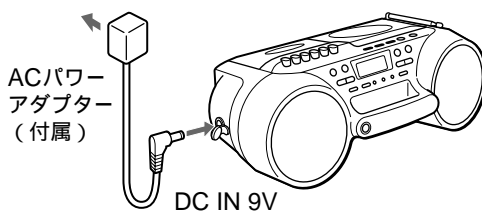


極性統一型プラグ

2 ACパワーアダプターを接続する

本機のDC IN 9Vジャックへ差し込んだあと、壁のコンセント
トへ差し込んでください。

壁のコンセントへ



次のページへつづく

電源を準備する(つづき)

ちょっと一言

乾電池を出し入れするとき、CDを取り出しておいください。CDぶたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。

カーバッテリーコードの接続について

- この製品には、付属のカーバッテリーコード(極性統一型プラグ・EIAJ*規格)をご使用ください。付属以外のカーバッテリーコードを使用すると、故障の原因になる場合があります。

*日本電子機械工業会の略



極性統一型プラグ

- 付属のカーバッテリーコードは12Vマイナスアース車専用です。
- 車のシガレットライターソケットの中が灰などで汚れていると、接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。
- 本機でラジオをお聞きになる場合は、雑音の原因となりますので、カーバッテリーコードを伸ばし、できるだけソケットから離してお使いください。

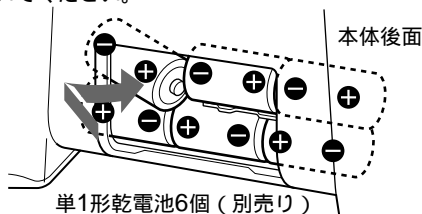
ヒューズ交換のご注意

- 必ず付属のスペアヒューズをご使用ください。
- 交換後も再び切れるような場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

3 乾電池で使う

別売りの単1形乾電池を6個入れます。

乾電池でお使いになるときは、本体からACパワーアダプターを抜いてください。



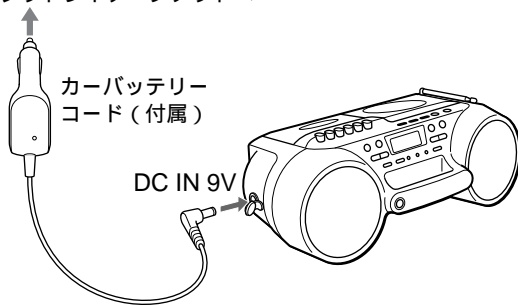
乾電池の交換について

乾電池のみで使用、乾電池が消耗してくるとOPR/BATTランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

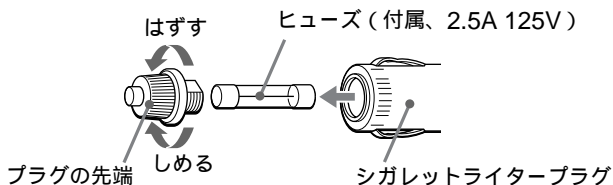
4 カーバッテリーで使う

付属のカーバッテリーコードを本機のDC IN 9Vジャックへ差し込んだあと、車のシガレットライターソケットへ差し込んでください。

シガレットライターソケットへ

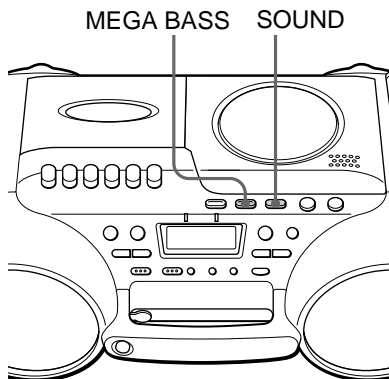


ヒューズを交換するには



好みの音質で 聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



準備

サウンド効果を楽しむ

サウンドボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

| | |
|-------|---|
| ROCK | 低音域と高音域を強調し、メリハリのある音質になります。ビートの効いたロック系の音楽に適しています。 |
| POP | 特に中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。ポップス系の音楽に適しています。 |
| LIVE | 低音を持ち上げ、埋もれがちなベースの音などをはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。ジャズ系の音楽に適しています。 |
| VOCAL | 人の声の中心である中音域を強調することにより、ボーカルをきわだたせます。ボーカル中心の音楽に適しています。 |
| OFF | ダイナミックレンジの広いクラシックなどの音楽をお聞きになるときに適しています。 |

重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示され、重低音が強調された迫力のある音質になります。通常の音質に戻すには、再度MEGA BASSボタンを押します。

使用上のご注意

防滴機構について

本機は、水しびきがかかっても機能に支障のない防滴機構（防滴II型：JIS、日本工業規格）になっています。ただし、水中での使用はできませんので以下の点に充分ご注意ください。

- 本機を水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- スピーカーグリルの内部に穴を開けないでください。
- CDぶたやカセットぶたを開ける前に、本機の外側についた水、ほこり、砂などを拭き取ってください。ふたの開け閉めは、水や砂が入らない場所で、乾いた手で行ってください。もし水や砂が入ると、故障することがあります。
- ふたを閉めるときは、ふたの周りにほこりや砂がついていないかどうか確認してください。
- DC IN 9Vジャックや⊕ジャックを使わないときは、ゴムキャップをはめておいてください。ジャックの中が水で濡れていたり砂で汚れていたりすると、さびて、故障の原因になります。
- 付属のACパワーアダプターは防滴機構ではありません。家庭用電源で使用するときは、水がかからないようにご注意ください。

取り扱いについて

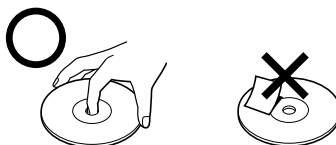
- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気に変化して不具合がおきことがあります。
 - 時計
 - クレジットカードなどの磁気カード
 - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

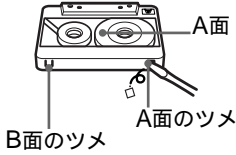
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る—誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

| 症状 | チェック項目 |
|------------|--|
| 電源が入らない。 | <ul style="list-style-type: none">ACパワーアダプターをDC IN 9Vジャックとコンセントにしっかり差し込む。乾電池が正しく入っているか確認する。 |
| 音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。ACパワーアダプターをDC IN 9Vジャックとコンセントにしっかり差し込む。音量を調節する。スピーカーで聞くとときは、ヘッドホンを○ジャックから抜く。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している 携帯電話などを本機から離して使用する。 |
| ステレオにならない。 | <ul style="list-style-type: none">MODE・MONO/STボタンを押して、「STEREO」を表示させる。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 |

共通

ラジオ部

| | 症状 | チェック項目 |
|------------------|---|---|
| C D 部 | 演奏が始まらない。 CDが入っているのに「no disc」が表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> • CDぶたが閉まっていることを確認する。 • CDが裏返し 文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい クリーニングする。 (32ページ) • レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • CDの■ボタンを押して、CDの操作ができるようにする。 |
| | 音がとぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> • CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい クリーニングする。 (32ページ) • CDに大きな傷があるとき CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 |
| | CDぶたが開かない。 | <ul style="list-style-type: none"> • スピーカーが上向きになっているときは、CDぶたは開きません。 |
| テ ー プ 部 | CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> • 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。 |
| | 操作ボタンを押してもテープが動かない。 | <ul style="list-style-type: none"> • カセットぶたをきちんと閉める。 |
| | 前の録音が完全に消えない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 消去ヘッドをクリーニングする。(36ページ) • TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)テープを使っている 録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。 |
| | 録音ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> • カセットを正しく入れる。 • デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。 |
| | 雑音が多い。音質が良くない。 | <ul style="list-style-type: none"> • ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(36ページ) • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。(36ページ) |
| 音が歪む。 | <ul style="list-style-type: none"> • TYPE II(ハイポジション)またはTYPE IV(メタル)テープはお使いになれません。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。 | |

次のページへつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

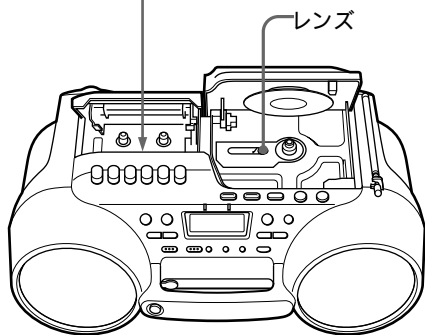
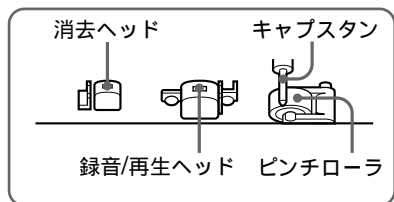
| 症状 | チェック項目 |
|-------------------------|--|
| タイマーが働かない。 タイマー(時計)部 | <ul style="list-style-type: none">• 時計を正しい時刻に合わせる。• 本体用乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。• カセットが最後まで巻きとられていないことを確かめる。• ACパワーアダプターで使用中、停電があった。• ①表示が出ていることを確認する。 |

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作がおかしいときは、乾電池収納部内のRESETボタンを先のとがったもので押してください。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーザー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きます。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズを触ってしまったり、レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、演奏できなくなったときは、別売りのクリーニングキットを使って、レンズをクリーニングしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

主な仕様

CDプレーヤー部

| | |
|----------|--------------------------------|
| 型式 | コンパクトディスクデジタルオーディオシステム |
| チャンネル数 | 2チャンネル |
| ワウ・フラッター | 測定限界以下 (EIAJ*) |
| 周波数特性 | 20 ~ 20,000Hz +0.5/-1dB (EIAJ) |

ラジオ部

| | |
|-------|--|
| 受信周波数 | FM/TV: 76 ~ 108MHz (1~3CH) AM: 531 ~ 1,629kHz |
| アンテナ | FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵 |

カセットデッキ部・共通部

| | |
|--------|---|
| トラック方式 | 4トラック2チャンネル |
| スピーカー | フルレンジ: 10cm、コーン型3.2Ω、2個 |
| 早巻き時間 | 約2分 (ソニーカセットテープC-60使用) |
| 周波数範囲 | TYPE I (ノーマル) カセット50 ~ 13,000Hz (EIAJ) |
| 出力端子 | ヘッドホン (ステレオミニジャック) 1個 負荷インピーダンス 16 ~ 68Ω |
| 実用最大出力 | 2.0W + 2.0W (EIAJ/3.2Ω) |
| 電源 | 本体用: 単1形乾電池6個使用 (DC 9V) 外部電源ジャック 定格DC9V ACアダプター (付属) を接続してAC100V電源から使用可能 カーバッテリー (付属) を接続して自動車バッテリーから使用可能 メモリー保持用: 単3形乾電池4個使用 (DC 6V) |

電池持続時間

| 測定条件 | 使用乾電池 | ソニーニユースーパー | ソニーアルカリ |
|-----------------|-------|------------|---------|
| | | R20P | |
| テープ再生時** (EIAJ) | | 約12時間 | 約17時間 |
| FM録音時 (EIAJ) | | 約15時間 | 約20時間 |
| CD再生時** (EIAJ) | | 約4時間 | 約6時間 |

* EIAJ (日本電気機械工業会) 規格による測定値です。

**音量8分目程度

| | |
|--------|--|
| 最大外形寸法 | 約435 × 163 × 242mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む) (EIAJ*) |
| 質量 | 本体 約3.3kg ご使用時 約4kg (乾電池、CD、テープ含む) |
| 付属品 | ACアダプター (1) カーバッテリーコード (1) スぺアヒューズ (1) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) |

別売りアクセサリ

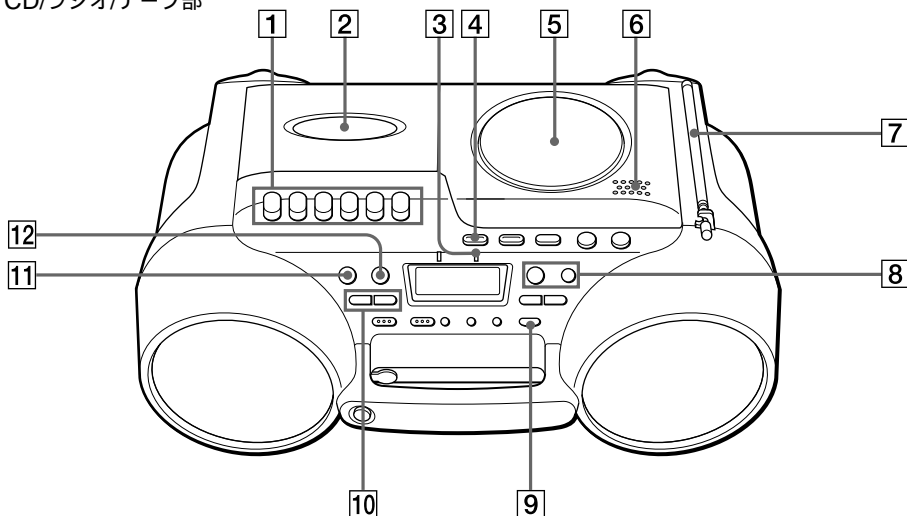
| | |
|----------------|-------|
| ヘッドイレーサー・クリーナー | HE-6C |
| クリーニングキット | KK-41 |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

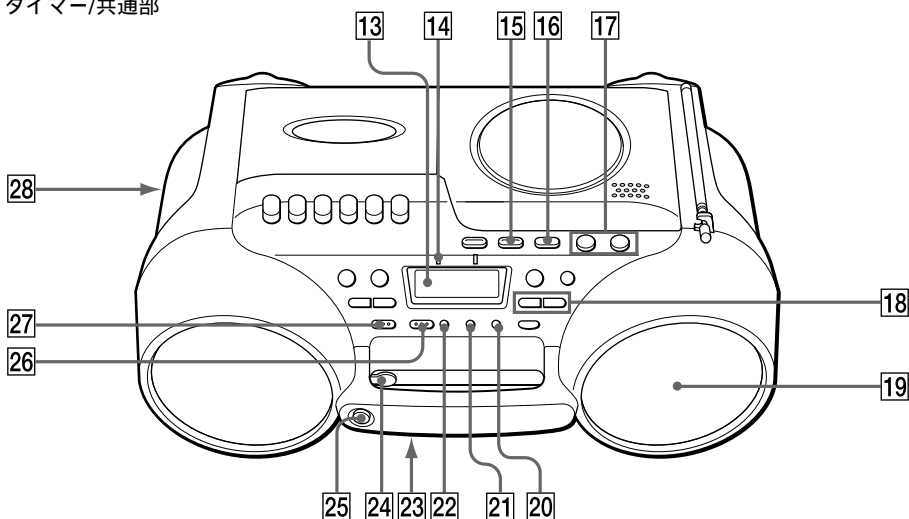
くわしい説明は () 内のページをご覧ください。

CD/ラジオ/テープ部



- | | |
|--|---|
| <p>1 テープ操作ボタン(12) <small>レコーディング</small> ●REC(録音) / <small>プレイ</small> ▶PLAY(再生) / <small>リワインド</small> ◀◀REW(巻戻し) / <small>ファストフォワード</small> ▶▶FF(早送り) / <small>ストップ</small> ■▲STOP/EJECT(停止/取り出し) / <small>ポーズ</small> PAUSE(一時停止)</p> <p>2 カセットぶた(12)</p> <p>3 ESP(音飛び防止)ランプ(22)</p> <p>4 ESP(音飛び防止)ボタン(22)</p> <p>5 CDぶた(8)</p> <p>6 ▲PUSH OPEN/CLOSE(8)</p> | <p>7 FM/TV(1-3CH)用ロッドアンテナ(11)</p> <p>8 CD操作ボタン(8) ▶ (演奏/一時停止) / ■ (停止)</p> <p>9 MODE MONO/SHIFTボタン (11、18~20)</p> <p>10 PRESET(プリセット選局)+、- <small>プリセット</small> ボタン(23)</p> <p>11 FUNCTIONボタン(15)</p> <p>12 ラジオ操作ボタン(10) <small>バンド</small> BANDボタン</p> |
|--|---|

タイマー/共通部



その他

- | | |
|---|---|
| 13 表示窓 (16) | 21 クロックボタン (25) |
| 14 <small>オペレーション</small> <small>バッテリー</small> (電源/電池)ランプ (30) | 22 <small>タイマー</small> (26, 28) |
| 15 <small>メガ</small> <small>ベース</small> MEGA BASSボタン (31) | 23 乾電池収納部 (29, 30) |
| 16 <small>サウンド</small> SOUND (音質) ボタン (31) | 24 ♪ (ヘッドホン)ジャック |
| 17 <small>ボリューム</small> VOLUME (音量) +、- ボタン | 25 <small>パワー</small> POWER (電源) ボタン (8) |
| (9, 11, 13) | 26 <small>スタンバイ</small> STANDBY ボタン (27) |
| 18 <small>チューニング</small> <small>タイム</small> <small>セット</small> ◀▶/TUNING/TIME SET | 27 <small>スリープ</small> SLEEP ボタン (28) |
| (選局/時刻設定) +、- ボタン (9, 10) | 28 <small>イン</small> <small>ボルト</small> DC IN 9Vジャック (29, 30) |
| 19 スピーカー | |
| 20 <small>ディスプレイ</small> <small>エンター</small> <small>メモリー</small> DISPLAY/ENTER MEMORY | |
| (表示切換/決定/登録) ボタン (16, 23) | |

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in China

Sony  line

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。
